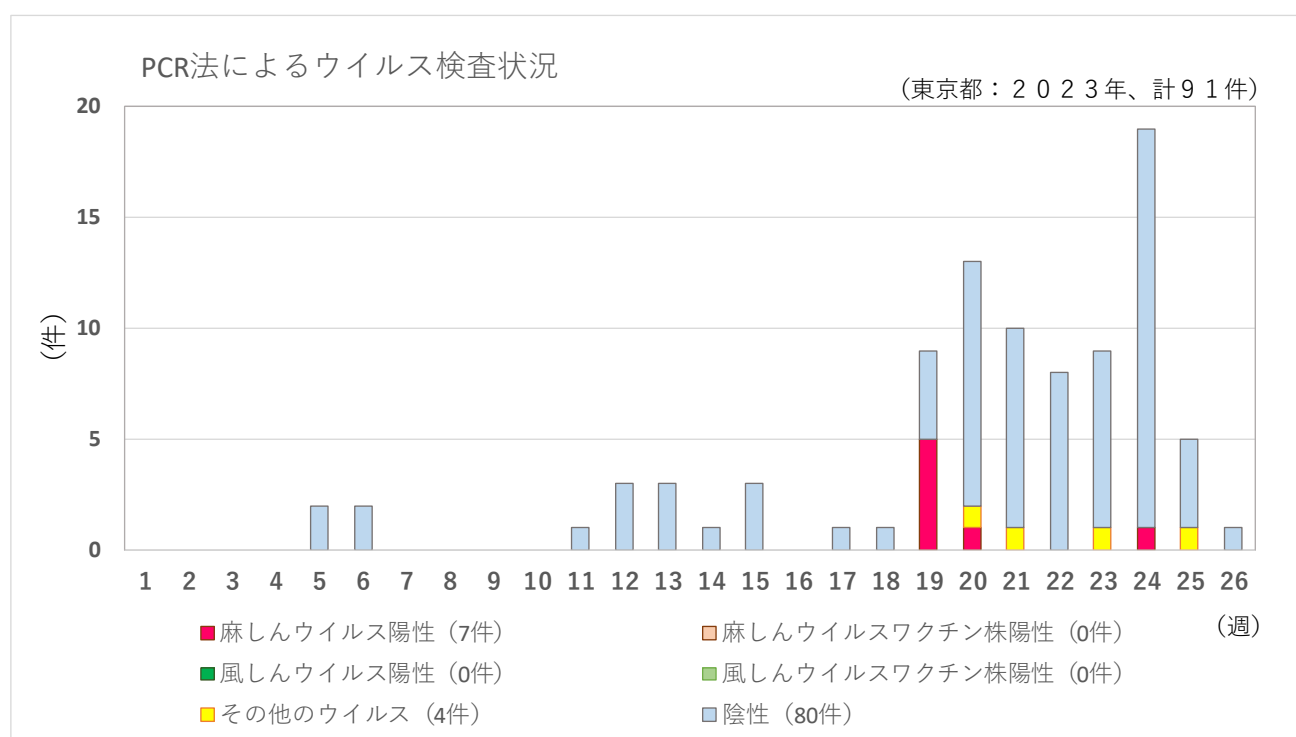


東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査*実施状況

(2023年1週から26週まで)

東京都健康安全研究センター

東京都では、麻しんまたは風しんと診断された患者で協力が得られた場合、健康安全研究センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合にはパルボウイルス B19 型の PCR 検査を、2 歳以下の患者検体についてはヒトヘルペスウイルス 6 型および 7 型の PCR 検査をさらに追加して実施している。



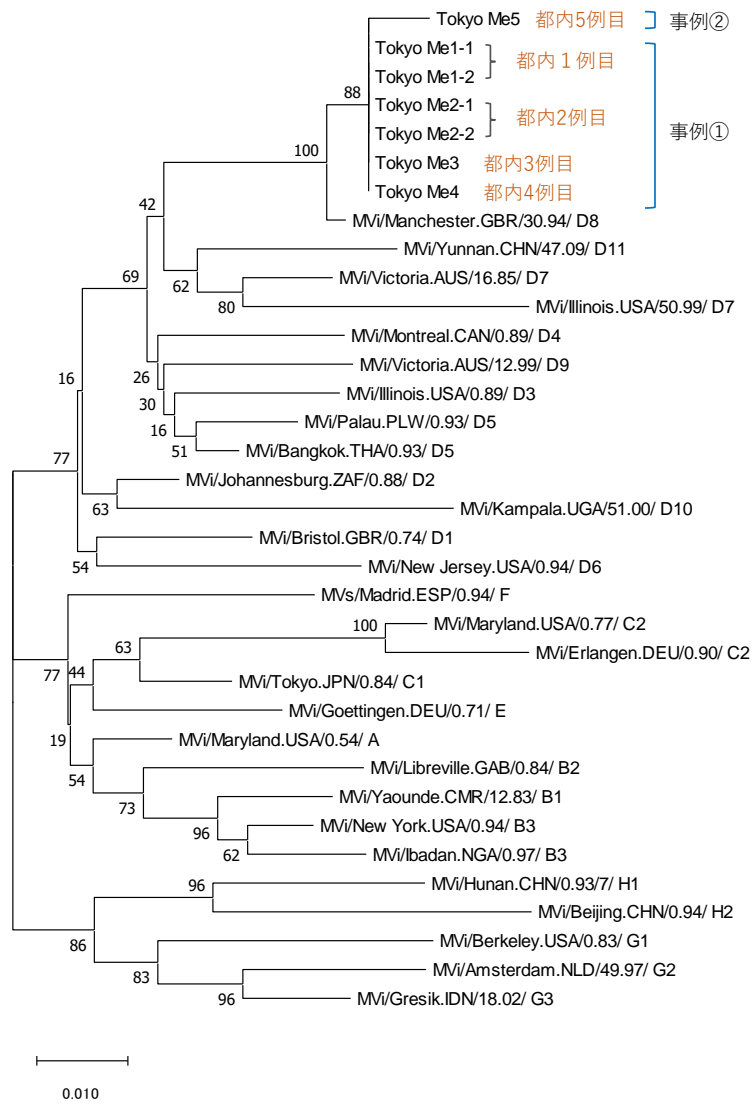
2023年1週から26週までで麻しんまたは風しんと診断された患者79名の91検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。その結果、麻しんウイルスが患者5名(7検体)から検出され、風しんウイルスは検出されなかった。その他のウイルスとして、ヒトヘルペスウイルス6型が2検体、7型が1検体、パルボウイルス B19 型が1検体から検出された。

※PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

<麻しん・風しん患者検体の遺伝子検査結果>
麻しんウイルス：5患者7検体(全てD8型)
風しんウイルス(検出なし)
その他のウイルス
 ヒトヘルペスウイルス6型：2検体
 ヒトヘルペスウイルス7型：1検体
 パルボウイルス B19 型：1検体

麻しんウイルス系統樹

N領域450塩基 (NJ法)



D8型